



関東支部会報

第6号 (2023年7月発行)

支部長 TN

5月頃から海外へサーバス旅行に出かける会員が増え、また海外からのトラベラーも増え、少しずつコロナ禍の前に戻りつつあります。会員のみなさま、如何お過ごしでしょうか。今日は支部会報第6号をお届けします。

掲載内容

1. 支部会の報告(3月25日開催)
2. 会員情報と文書管理者の設置について
3. 春の懇親会(懇親会に参加して-TY)
4. サーバス旅行体験談
 - 1) YIさん スリランカサーバス報告
 - 2) AIさん 台湾旅行体験記
 - 3) MH・MYさん ニュージーランドの旅
 - 4) YIさん サーバストラベル報告(テキサス州、ニューメキシコ州)
5. 支部からのお知らせ(新規入会者、退会者の紹介)とお願い

1 関東支部総会 (3月25日 JICA 地球ひろば)

2022年度の活動報告と会計報告

4月16日 オンラインで支部総会を開催、14時から16時 出席者12名 2021年度の活動報告と会計報告、2022年度の活動予定と予算について報告し承認を得、新役員の選任、各種交流会・親睦会の報告、サーバス旅行体験談の発表を行った。

11月3日 オンラインで支部例会を開催、14時から16時 出席者13名 2025年から関東支部が本部役員A業務(会長、副会長、会計)を引き受ける件について説明を行う。9月10日台湾とのオンライン交流会について報告、サーバス海外旅行体験の発表、新規入会された2名方を紹介。

・5月16日 春の親睦会『大山詣で』(幹事 Tさん)残念ながら雨天のため中止

・9月10日 サーバス台湾(嘉義 Chiayi)とのオンライン交流会を開催 参加者16名

・1月28日 親睦会『国分寺をめぐる』(幹事 Tさん)参加者8名

奈良時代、現在の府中市に国府が設置され、武蔵国分寺が建立された。多摩地方は、武蔵野国の政治・文教の中心として栄えた。鎌倉時代には鎌倉街道も設けられ宿場町として栄えた。しかし新田義貞が鎌倉攻めの時に戦渦に巻き込まれその後次第にこの辺りは農村集落へと変わった。明治に国分村が誕生し、その後国分寺市となり現在に至っている。このような歴史的な背景のある国分寺辺りをサーバス仲間で冬の一日を楽しく散策をしました。

西国分寺駅からゆっくり歩きながら国分寺薬師堂、国分寺仁王門、武蔵国分寺跡、国分寺桜門、万葉植物園などを巡り参拝。その後、お鷹の道を歩き国分寺駅にむかう。都立殿ヶ谷戸庭園(元三菱岩崎弥太郎の別荘)を散策し、最後に駅ビルにあるレストランで昼食を頂きました。サーバス仲間と楽しい一時を過ごしました。



[2022 年度決算報告と 2023 年度予算について]

[2023 年度の活動予定と予算について]

活動予定

3 月 25 日 支部総会を Zoom と会議室でのハイブリッド方式で 13 時から 17 時、JICA 地球ひろば 会議室 202A+B で開催。

- ・6 月 春の懇親会 澤乃井-小澤酒造株式会社(青梅市)を訪ねる(幹事 Tさん)。
- ・11～12月 支部例会を開催。
- ・11 月～12 月 台北で開催されるサーバス台北との交流会に参加。

予算について

年会費 40 名×3,000 円 120,000 円として計上

11 月頃、台北で行われる交流会の参加費として 50,000 円計上。

3 月 11 日 日本サーバス国内会議(オンラインで)

3 月 11 日～12 日に開催された国内会議により

- ・各支部の支部会開催状況、特質すべき活動などの報告と各支部の会計報告があった。
- ・Tプロジェクト(近畿支部会員であった Tさんが若き日にサーバス旅行をしたことが自身の人生にとってもプラスになったということで、若い人のサーバス活動に使って欲しいと 100 万円の寄付があった。これを Tプロジェクトとして運用して行くことになった。プロジェクトは若い人を対象にこれからサーバス旅行する方に 5 万円を援助する(年に 2 名)。
- ・次期本部役員について 2023 年 4 月から九州支部が A 業務を担当することになった。

会長 TY、副会長 TF、会計 OT、会計監査 KM

IT 委員長 YH、ユース部長 NY

* 5月に『会員情報と文書管理者』として九州支部のNSさんが新しく就任。

2025年4月から関東支部がA業務を担当することになった。

関東支部の会員数について

2022年3月の会員数は41名（正会員40名、トラベラー会員1名、家族会員3名）

入会者 YSさん、SM(家族)さん、MHさん、TEさん

退会者 SAさん、MPさん、KMさん、KRさん

退会予定者 Iさん

* 7月1日現在、会員数は45名、内4名家族会員、1名トラベラー会員

台湾、サーバス台北と関東支部との交流会について

コロナ禍で延期されていた台北との交流会は今年11月頃に台北市で開催される模様。

一昨日、台北のGTさんから関東との交流会は、サーバス台湾が主催する東アジアオンライン交流会(physical版)が11月9-12日に台北で開催計画があり、この交流会の前後にサーバス台北が主催する関東との交流会も開催予定と旨連絡がありました。

* その後、台北との打ち合わせで交流会は2024年1月に開催される予定となりました。

サーバス旅行体験談の発表

- 1) YSさん アメリカサーバス旅行
- 2) TSさん、TNによるスペインからのトラベラーのホスト
- 3) YIさん、スリランカ Servas 報告

2. 『会員情報および文書管理者』の設置

5月の臨時国内会議で「会員情報および文書管理者」の設置と役員が決まり、中崎忍さんが就任されました。具体的な業務として次のお知らせがありました。

IT委員長 YH
会員情報および文書管理者 NS

申請書類、依頼文書などの送信先の変更について-お願い

従来、殆どの申請書類や依頼文書はIT委員長へ送られていましたが、先日の臨時国内会議(4月25日、5月16日)において「会員情報および文書管理者」の設置と役員が決定したことに伴い、IT委員長と会員情報および文書管理者との協議により申請書類や依頼文書の送信先を以下のように変更しましたので宜しくご対応くださるようお願いいたします。

A 会員情報に関して

以下の申請は、「会員情報および文書管理者」へお願いします。

送信先アドレス:

1. 入会申請

- (1) 支部長さんは入会希望者の作った会員票(入会時用)を正しく記入されているかチェックしてください。
- (2) 支部長さんは会員票を「会員情報および文書管理者」にご送信ください。

2. 家族会員申請

- (1) 支部長さんは家族会員申請者の作った会員票(家族会員用)を正しく記入されているかチェックしてください。
- (2) 支部長さんは会員票を「会員情報および文書管理者」にご送信ください。

3. 退会

支部長は退会届を「会員情報および文書管理者」にご送信ください。

4. LOI申請

- (1) 会員がLOIを取得したい場合は、支部長に申し出てください。
- (2) 会員がトラベラーの認定を受けていない場合は、支部長さんが面接・認定し、トラベラーとして認定した旨を「会員情報および文書管理者」へご送信ください。
- (3) 申請者はSOLでLOIの作成を行い支部長にダウンロードしたPDFファイルを送ってください。支部長さんはそれをチェックしてください。

- (4) 支部長さんは LOI 発行依頼を「会員情報および文書管理者」にご送信ください。

B 日本サーバス Web ページ掲載に関して

以下の申請は、IT 委員長へお願いします。

送信先アドレス:

(受信者:IT 委員長 YH、IT 副委員長 SS、本部 IT 委員 NS)

本部会報、支部会報、議事録、及びその他の記事

会報に関しては以下の 4 種類のファイルをお送りください。会報以外については Word ファイルのみをお送りください。

- (1) サーバス会員閲覧用 WORD ファイル
- (2) 一般閲覧用 WORD ファイル
- (3) 一般閲覧用 PDF ファイル
- (4) サーバス会員閲覧用 PDF ファイル

C SOL(ServasOnline)利用に関して

電子メール、その他の会員情報の修正や利用に関する問い合わせがある場合は IT 委員長へお願いします。

送信先アドレス:

(受信者:IT 委員長 YH、IT 副委員長 SS、本部 IT 委員 NS)

D 支部役員の移動に関して

支部役員に異動があった時には、支部長さんは
役職名、氏名、住所、郵便番号、電話番号、電子メールアドレスを
以下の役員へメールで同時配信ください。

TY 会長

NS 会員情報および文書管理者

3.親睦会

『さわやかな緑の中をちょっと歩いてみませんか』

日 時： 2023年6月13日(火)(雨天の場合は6月20日(火))

11時～15時

待ち合わせ： JR 立川駅5番ホーム先頭車両付近

10:13 発 青梅線快速青梅行きに乗り、青梅で青梅線奥多摩行きに乗り換えます。

沢井駅 11:11 着 駅から徒歩5分ほどで澤乃井園に到着です。

清流ガーデン澤乃井園で散歩して、昼食は売店でそれぞれ好きなものを買ってあづまやで食べましょう。昼食後は、ギャラリーを見学したり、利き酒処に寄ったり、また散歩してもいいかなと思います。

なお、酒造見学は 13:00 と 14:00 にありますが、予約が必要です。希望の方は早めにお知らせください。希望者が多ければ、事前予約しますが、当日空いていれば入れるようです。

(幹事 TS)



親睦会に参加して(TY)

天気予報を覆し帽子が欲しくなるような晴れ間の6月13日、奥多摩・澤乃井園に行きました。参加者は幹事のTさん、Mさん、Tさん、Tさんの友人、T夫婦の計6名でした。多摩川沿い遊歩道を1時間ほど歩きました。盛りの紫陽花他草花を見、蝶々と共に歩き、足許アスファルトとは異なる優しい感触で贅沢な一時でした。澤乃井酒造で買いましたお酒は家に帰ってから夕食と供に美味しく頂きました。Tさん、お世話なり有難うございました。

4. サーバス旅行体験記



1) スリランカ SERVAS 報告 (2023年1月10日~20日) YI

せっかく休みを取ったので、どこに行こうかと考えていた時、スリランカにメンバーがいるということを知らされたので、新茶のシーズンに「紅茶」を飲みに行こうと決めました。

結果的には工場で製茶されたばかりの茶葉で頂くという望みはかなえられませんでした。日本で販売されている茶葉は殆どがほぼ1年以上前に製茶されたものであると聞いたことがあります。それよりは新しいかな？くらいでした。お茶の葉よりも決めては「水」ですよ。

セイロン tea はミルク tea 用に細かく粉碎された茶葉なので自分の求めるリーフ tea は一般的ではありませんでした。とかなんとか言っても5つの製茶工場で楽しむことができました。

スリランカのサーバスは2年前に始まったばかりだという。

現在コーディネーターをしている()さんが、息子さんが住んでいるヨーロッパに行った時。サーバスを知りその国で面接を受け会員になったという。帰国してから知人友人を会員に登録したという。全員 DAY HOST でありお互いに面識はないという。

1、()コーディネーター。Colombo 在住。

長年スリランカ航空に勤務、退職後恵まれない子供たちを支援する活動に。

現在同居している大学生の娘が自立したら、宿泊を提供できるといつていた。

帰国する最後の日にお住いのアパートを訪問、魚カレーをごちそうになった。

2、()Kandy 在住。USA 生まれの2世の男性。各国で就業、最終的にスリランカで仏教布教と慈善活動を。手作りのケーキでお茶に招いてくださった。ヨーロッパの大学で学位習得、アメリカ大使館勤務経験のある若い女性が仏教の宿泊修行しているために、宿泊させることができないという。代わりに近所の知人宅を紹介、4泊させていただいた。サーバスの会員ではない。事業家だった父親の逝去で相続したでかい家に日本で働いた経験がある兄弟2人で住んでいた。4日間朝食夕食を作ってお礼にさせていただいた。この人の英語家庭教師だったイギリス人のうちへもお茶に招かれて行ってきた。金持ちは高い丘の上に住んでいて見晴らしがよかったが、排気ガスがどこでもひどい。

3、()Kandy 郊外在住。ヨガのインストラクターの日本人奥さんと溪谷にコテージ形式の個性的な宿泊棟を持った施設経営者。ロッジのビュフェ昼食に招いていただいた。

4、()Gall 在住。旧市街地でレストラン+宿泊施設経営。フランス人の夫と郊外に

住んでいる。客室が満室でなかったので半額で2泊させていただいた。初日の夜は従業員も交えて夕食とアルコールで歓談、大いに盛り上がった。

以上、一人はスリランカ不在で会えなかったが、4人のホストと楽しく過ごしてきました。200年もイギリスに、それ以前はオランダに、支配されてきたこの国には お会いした4人のホストだけでも いろんな人がいるなあと思いました。

スリランカは今回で3回目です。初回は内戦が終わったばかりの**40年前**で 家族でビーチのホテル滞在、ツアーでした。一度だけ地元の食堂に昼食を食べに行ったら、辛くて辛くて何も食べられませんでした。口の周りが赤く腫れてしまいました。それなのに 地元の皆さんはテーブルに置かれた青唐辛子をカレーの合間にポリポリ！驚いた。食堂からホテルまで歩いて20分くらいでしたが、歩いていると普通に蛇が、そしてごみを漁っている「恐竜もどき」が。びっくりしたなあ。ホテルで聞いたら「モンスター」という。??今もってわからない。インドネシアの〇〇島にいるあれの仲間か！

ホテルのビーチを散歩していると、若者がおいでーと手招き、ヤシの葉で寝袋を大きくしたような住まい？に新婚の奥さんと。唯一の家具らしき小さなまな板のような椅子をすすめられた。どうやって暮らしを立てているのか？

だからスリランカは自然がいっぱいで人懐っこい、穏やかな人々というイメージだった。

2回目は 10年前、知り合いにスリランカに知人がいる人の縁で 5人で車チャーターして大名旅行。毎日 いっぱい遺跡巡りしたがよく覚えていない。(笑い)中央高地の由緒あるホテルに泊まった時、ベッドに湯たんぽが入っていてほっこり、気持ちよく眠られたこと、毎日おいしい紅茶をいただいたことしか覚えていない。

そして**3度目の今回**、友達の家遊びにいったような感じで楽しかった。いろんな人に会えたことが一番だった。だから もうサーバスを抜きにした旅行は考えられない、といっても過言ではない。

* 個人名は伏せてあります。

2) サーバス旅行体験記: 台湾 3 泊 4 日

2023/5/14~17 AI

1. はじめに: 自己紹介と渡航の経緯

この度初めて Servas にお世話になり、台湾 3 泊 4 日の旅に行
って参りましたのでご報告します。

私は、本年 3 月末に入会しました AI と申します。都内の大学に
通う学部 4 年生です。クラシックギターの合奏を趣味にしていま
す。入学以来パンデミックの影響で外出機会に乏しく、かねてよ
り収束の暁には海外文化に触れる経験がしたいと考えておりま
した。海外への単身渡航は今回が初めてです。出発前は期待と
不安が入り混じる思いでしたが、Servas 日本・台湾双方の方に大変親身に相談に乗っ
ていただき、入会 1 か月半で非常に有意義な渡航を実現することができました。



今回お世話になったのは台北市のすぐ隣、新北市にお住まいの PY 様、MM 様夫妻
です。依頼の連絡に素早く快諾くださり、拙い英語しか使えない私を親身に受け入れ
てくださったお二方に心から感謝申し上げます。

2. 体験

2-1 渡航初日(出国、国立故宮博物院など)

無事昼過ぎにホストと合流し、初日はまず
国立故宮博物院に伺いました。台湾最大級
であるこの博物館には、台湾・中国文化を象
徴する貴重な資料が無数に展示されており、
いくら時間があっても見飽きないほど興味深
いものです。日本のミュージアムとは違う、
台湾ならではの趣向が表れた展示に見入り
ました。



どれも素晴らしい展示ですが、私が最も感銘を受けたのは「多
層象牙球」です。

この作品は継ぎ目のない一つの象牙から作られているとい
います。繊細な球体部分は、24 もの層が重なるように構成されて



おり、かつそれぞれが独立して回転します。その美しさもさることながら、これほどの作品を手彫りで完成させた芸術家の努力にはただただ驚かされるばかりです。

夜はホストの親戚一同と食事をご一緒した後、饒河街夜市に繰り出し、台湾の夜市フードを満喫しました。通りは人でごったがえし、道端では特設ステージでの見世物も開催され、すっかりコロナ以前の日常が戻った様子を感じられます。



2-2 渡航2日目(ハイキング、九分周辺)

2日目午前は、陽明山國家公園、擎天崗草原にて夫婦が愛好するハイキングに同行しました。こちらは雄大なナショナルパークで、豊かな自然や吹き出す硫黄ガス、天然の温泉を眺めることもできます。



練り歩いた先に見つけた小屋で、コーヒーとお菓子を頂きました。全身で台湾の空気を感じつつ、ほっと一息つくこの瞬間は、他に代えがたい安息のひと時でした。草原の真ん中で、ファミリーともたっぷり時間を取ってお話することができました。



午後になり、訪れたのは九分(ジョウフン)、そして十分(シーフェン)です。九分は台北北部の山間部、1時間ほど離れたところにあります。京都清水寺周辺を想起させるような商店街が斜地一杯に広がり、多数の階段を登りつつ、赤提灯が並ぶノスタルジックな街並みを満喫しました。



特に印象的だったのは、日本時代に建設された台湾最古の映画館、「昇平戲院」。19世紀末に九分がゴールドラッシュに沸いた時代の文化的な遺産を間近で確認できます。

そしてしばらく電車で揺られ、着いた十分では台湾観光の定番ともなっているランタン上げを楽しみました。



2-3 渡航3日目(龍山寺、歴史街、中正紀念堂、台北 101) 朝一番に向かったのは、龍山寺。こちらは創建 270 年ほど、台北で最も歴史深いお寺です。巨大で荘厳な建築には細部まできめ細かな装飾が施され、まさに圧巻のパワースポットであります。本堂前には、文字通り地面にひざまずいて熱心に思いを伝えようと



する方の姿も複数見られました。

龍山寺から少し東へ歩くと、剥皮寮歴史街という文化的景観が保存された地区があります。清朝時代の伝統的な店屋や、日本統治時代の教室風景などが見学できる形で遺されています。

至るところに掲示されている解説版には QR コードが付されており、日本語訳を閲覧することもできます。在りし日の台北、そして台湾に生きた日本の姿も感じとることができる街並みでした。

次にタクシーで向かったのは、迪化街(ディーホアチエ)。歴史ある問屋街、商店街でありながら、近年リノベーションが進み、ノスタルジックながら開放的な雰囲気が観光客に受けています。

台湾で有名なバブルティーを片手に街並みを楽めます。暑い日でしたのでその甘さと食感が心地よく、味覚と視覚の両面から伝統的な台湾を楽しみました。



続いて訪れた中正紀念堂は、蒋介石(本名:中正)に対し哀悼の意を表して建設された白亜の建造物です。蒋介石に対する評価が政権によって大きく異なることから、その名前は二転三転しています。



また、正面の広場には巨大な自由広場門があり、大きく「自由廣場」の文字が掲げられています。

内部は博物館のようになっており、最上階では高さ 6m 超の蒋介石像が鎮座しています。毎時定時には衛兵交代式が行われ、さながら軍事パレードのような規律正しい儀礼ないしパフォーマンスを観ることができます。中華民国、台湾の誇りやプライドを肌で感じる、なんとも印象的なひとときとなりました。



3日目最後に訪れたのは、台北 101 です。名前の通り 101 階建て、508m の高さを誇るビルは迫力満点です。

様々な施設が入っていますが、今回は、今年 1 月にオープンしたばかりという 88 階の天空カフェ ”Simple Kaffa” を訪れました。エレベーターを乗り継いで辿り着いたこのカフェからは、台北の街並みが一望できます。コーヒーは非常に美味しく、テイクアウトで持ち出すこともできます。

地階には日本でも有名な点心料理店「鼎泰豊(デインタイフォン)」があり、そちらで夕食を頂きました。



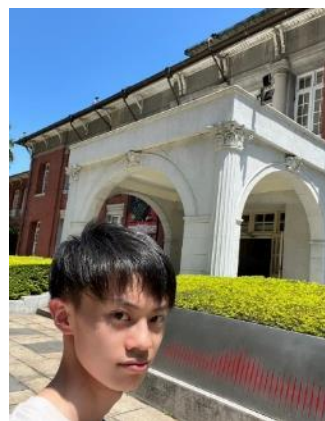
店内では厨房が透明の壁越しに見学できるようになっており、フォトスポットとして記念写真を撮ることもできます。

2-4 渡航 4 日目(最終日。国立台湾博物館、台北・中山駅周辺)

最終日は朝早くにファミリーとお別れしました。不慣れな旅行者である私をこれ以上ない親切心で受け入れていただき、通常の旅行では気づけない角度からも台湾文化を教えてくださいました。お二人に心から感謝の意をお伝えしました。

まず、スーツケースを置きに戻った台北駅から、がらんとした地下街を歩いて中山駅方面へ歩きます。ほどなくして、「台北当代美術館(MOCA Taipei)」に辿り着きます。

こちらではこれまでと違って、現代芸術を鑑賞することができます。元々小学校の校舎だったというこの施設では、各階の小部屋に趣向を凝らした展示が並んでおり、映像や立体物、あるいは芸術の製作現場(実際に芸術家が作業しています)といった、常識にとらわれない世界観が広がります。



美術館を出た後は中山駅～台北駅周辺を散策しました。この一帯はまさに都会、といった様子で、高級店を含んだショッピングビルやオフィスが立ち並びます。交通量も多いです。傍ら、メトロ直上には線状に憩いの公園が広がっており、緑地氏に囲まれ腰かけて一休みする方の姿もみられました。

ショッピングビルの中では、MIT(Made in Taiwan)製品販売店はもちろんのこと、日本企業のテナントも多く入ります。

しばらく街を歩いた後、MRTで2駅南下し、最後の主要スポットとして「国立臺灣博物館」(国立台湾博物館)を訪れました。周辺は広場になっていて、弾き語りの演奏家も数人見かけました

こちらでは古代から現代に至るまでの、台湾の文化的、考古学的な展示を鑑賞することができます。具体的には外交の遺産、巻物、古代生物の骨格標本などで、その幅は多岐に渡っています。この4日間巡ってきた台北の地は、気が遠くなるほど長い歴史のもとに、いまこうした形で存在しているのだな、というタテの繋がりに想いを馳せることができました。個人的に目をひかれたのは、先住民の信仰に関する展示です。偶像の顔はなんとも形容しがたい神妙な表情をしています。厳しい自然や戦争の中を生き抜いた先人の精神的な統一の象徴として、観るだけでも心打たれるものがありました。



3. 最後に

慣れない海外への、初めての一人渡航ということで、入国当初は大分プレッシャーを感じた節もありました。それだけに、渡航先で温かく迎え入れてくださるサーバスの仲間がいらっしやるのが非常に心強く、代えがたい温かみを感じました。

様々な角度から丁寧に台湾文化を案内していただいたことで、私もすっかりその空気に慣れ親しむことができ、最終日はひとり自由な街歩きを目一杯楽しむことさえできました。こうして、この4日間はファミリーや台湾とのかけがえのない関係を見出す、短くも貴重な時間になりました。今後ともこの繋がりを大切にしていきたいと思えます。

今回皆様に頂いたご協力に心から感謝申し上げます。ぜひまた機会を見つけて交流の機会を持たせていただければと思います。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

3) 娘とのニュージーランドの旅

MH(同行者:MY)

私は昔、TV番組<兼高かおる世界の旅>を食い入るように見た世代。あれから早いもので57年過ぎ、今もまだ<旅>に憧れています。その間、途上国での勤務もありましたが、やはり観光で行く<旅>は別物。

今回は2回目の母娘旅で、数か月前から胸が躍りました。と同時に1回目と異なり、私は健康に不安を感じる高齢者に変貌。今振り返ると、荷物も会話も娘に<負んぶに抱っこ>の旅となりました。

行程は成田空港を飛び立ち一路北島のAucklandへ、同日の国内便で南島の南端Invercargillに移動。その後はフィヨルド地形の絶景Milford Sound、体調25cmの最小ペンギンと触れ合えるDunedin、12年前大地震で被害を被ったChristchurch、アルパイン



鉄道で東海岸から西海岸のGreymouth、芸術家が集まるNelson、南島と北島を結ぶPicton、首都のWellington、アールデコの街Nelson、シンガポールと同面積の湖を有するTaupo、世界最大級の間欠泉があるRotorua、国最大の人口を有するAuckland、そして国際便で成田へ。

この間、5世帯のサーバスでお世話になり、ホテルやゲストハウスに5か所滞在。サーバスホストからは現地の人と触れ合う事でしか学ぶ事ができない膨大な体験や知見を頂きました。例えば、私達だけでは到底訪れる事ができない遠隔地に連れて行って下さったり、ガイドブックに載っていない地元の人でしか知らない隠れたスポットを案内して下さったり、また食事や会話を通して現地の人々の日常生活を教えてくださいと数え上げたら切りがありません。本当に素晴らしい日々の連続でした。

中でも最後のAucklandでは、ずっと願っていた思いが叶いました。48年前登ったOne Tree Hillに再度立てたのです。心躍りました。「約束通り来ましたよ」って自身に言い聞かせました。

帰国して10日経ちました。連日、周囲の人々に、如何にこの旅が有意義だったかを熱っぽく語る毎日です。

一つ、どうしてもお伝えしたいことがあります。

私は昨年ペースメーカーを装着し、今もちょっと歩くと心臓がパクパクする体です。また腰痛や足の痺れで、普段は 50 メートル歩くのもフーフー言っている状態。ところが、上記に上げた Milford Sound で本人も信じられない事が起こったのです。

緑豊かな爽やかな空気を吸い、鳥の豊かな鳴き声を耳にし、何本もの岩肌を這う滝を見ていたら、何と呼吸の苦しさも、鉛のように重かった足腰の痛さも、一切消えたのです。私の足は知らぬ間にスキップを踏んでいました。それからの 3 週間、つまり帰国後まで、連日 8 キロ近くを自由に歩けたのです。同行の娘も何が起こったのかと目を見張るばかりでした。

ところが、飛行機が成田空港に近づくにつれ、またもや、心臓の苦しみ、足腰の痛さが、、、あの 24 日間は一体何だったのでしょうか？

“An unbelievable Miracle had happened in New Zealand.”



4)SERVAS トラベル報告 USA テキサス州, New メキシコ州

2023. 4. 23~5. 13 関東支部 YI

1、目的

① ブルーボンネット

たまたま 野原に咲き乱れるブルーの野草の写真も目にして、「いつ行くの?」「今でしょ!」(古い!)だった。ルピナスかと思ったらブルーボンネット(マメ科ルピナス属)というのだそう。それで決めた。それまではテキサス州の州都がオーステンだということを知らなかった(笑い)し、テキサス州の州花はサボテンだとばかり思っていたが、このブルーボンネットだと言うことも勿論知らなかった。オーステン近郊でふつうにみられる野草で、もともとは種をまいたものさそう。このこともニュージーランドのルピナスと同じ。どちらもきれいだ!

② ホワイトサンド N・P

これも偶然見た写真に吸い付けられて決めたのだ。世界遺産ではなく ただの白い砂丘? 自然以外何も無いところが良いと。公共交通機関がないので 最寄りの町に前泊、前日からタクシーを予約。公園入口からさらに2時間以上歩くことになるのでタクシーを降りた後、ヒッチハイク。ラッキーにも気持ちの良い2人連れのアメリカ人が拾ってくれ ずっと3人で行動を共にして楽しかった。ここは全く何も目印がない砂漠なので砂嵐で何も見えなくなったら1人はちょっと危ないかもです。

2、宿泊 SERVAS ホストとモーテル、ホテル

ホストを探すのは大変でした。

リストに掲載されている全員にメールしました。すぐ返信があったのは6人で そのうちOKは3人で残り3人は旅行中、仕事で不在、退会予定ということでした。結果的に7人のホストのお世話になりました。

SERVAS のページから送信しないと 迷惑メールに振り分けられたり、知らない人というので無視されてしまう恐れがあるので面倒でもそうしたほうが良い。

今回、返信がなかったホストに「以前もメールいたしましたが、、、、」と再びメールしたら、「いや、受け取っていない、これが初めてのメールだ」ということがあった。

旅の初日のオーステンのホストは「自分の兄弟が来ることになっているので泊められないが、友達のうちに宿泊できるように頼んでおいた。自分が空港まで迎えに行き友達の家まで送り届けるから心配しないで」という返信。その日は大雨で乗継便がキャンセル、変更便でオーステンに到着したのは真夜中でしたが、待っていてくださり、とても有難かった。

また2日後にアルバカーキー行きの飛行機は9:00出発だったのですが、ホストの友人は「バスで乗り遅れたら大変だから」と、朝5:00前に起きて空港まで送ってくれた。おまけにいつでも食べられるようにとビスケットを何種類も持たせてくれた。これに後々まで助けられた。お心遣いがうれしい。

2、移動 グレイハウンドバス Flix バス、飛行機

- ① オーステン、ダラス、サンアントニオのような都市は市内バスがあり便利だが、一歩離れると車がないと何もできない、つまり車なしではどうにもならないアメリカ社会。小さい町だとタクシー会社があっても一社だけで電話がつかない。市内バスは1日有効パスが\$1.5~\$3、物価高のUSAにあっては奇跡的な価格でべらぼうに安い。ペットボトルの水より安い！乗客のほとんどは学生、障害者、高齢者、カラード。

グレイハウンドバスの発着所が町中にあればよいが、アルバカーキーではハイウェイの近くだった。最寄り鉄道駅は無人駅で何もない、誰もいない。歩くしかない。1時間もかかった。昼間のバスだったから良かったけど夜中にこんなところに降ろされた日にはどうすればいいの？

サンアントニオではLyftに連絡したが1時間後ということ。思い切ってホストに電話、すぐ迎えに来てくれた。Lyftは前払いなので25ドル無駄にしたが、夕食を用意してくれるというホストを待たせるわけにはいかない。

- ② 飛行機はいつも遅れる(笑)。悪天候でキャンセルになっても宿泊代は保証されないということを後で知った。バスも遅れる。要注意

3、ホストとあれやこれや

平日は皆さん忙しいが週末はあれこれ、今回は週末が3回あった。

- ① サタデーマーケット(朝市)、、、、つい買ってしまう。ガレージセール、、、面白いので寄り道してもらった。つい買ってしまった。
- ② ポットラックパーティー、、、ホストが気を利かして歓迎会、といっても5人くらいでしたが楽しかった。
- ③ ホストの友人の誕生日パーティー、、、50歳の誕生日は特別な日だそうです。メールでホストから知らされていたので空港でお土産とカードを購入していきお渡しした。いろいろな人と話ができて良かった。。
- ④ 週末のレストラン、、、ホストの友人夫婦と一緒に。仕事に熱中のホストは家で料理をしない。

- ⑤ 午後のお茶(ハイテイー)、、、SERVAS に入会したいという人のところへ行きごちそうになった。幼い子供2人の若夫婦。2人はニュージーランドの旅の途中で知り合った十いった。

印象に残ったホストはサンホセの郊外に犬3匹とトレーラーハウスに住んでいるサイコロジスト(男性)です。トレーラーハウスなるものに初めて宿泊。ちゃんと電気水道あり。もっとも水は貴重な雨水から。周りに家が見えない大自然の中。朝夕に犬と周囲の山に散歩。

同じく周囲を山(丘)に囲まれたところに静かに暮らす老夫婦。若い時 持っていたものをすべて売り払って2年間の世界旅行をしたという。リタイア後に移住。かつては畑も作っていたが今はもうやめたといっていた。リンゴやナシの木、ラズベリーの木などいろいろ、早朝に庭に鹿が出没、いろいろ食い荒らすので悩みだといった。一山超えないと人家がない。周りの山々を散歩、後で山の岩陰には蛇がいると知らされた。

4. 終わりに

私は単なる短期間の観光旅行者です。

ビジネスや家族親戚訪問でしばしば渡米している人と違って、上っ面だけの印象です。

20年ぶりに訪れたUSAの物価の高さに驚き、太った人が多いのに驚き、コンビニのソフトドリンクのカップのでかさに驚いた。ホテル代も高い。帰国便が朝7:00出発とあって空港近くのホテルを探した。なんと3万円以上。一人旅にはきつい。

クレジットカードとスマホがないと何もできない。何も買えない。予約only,カードonlyと書かれているところが多い。飛行機、高速バス、ホテルすべてスマホの決済画面を見せるだけ。

でもホストの皆さんは 忙しい中にあっても精いっぱいもてなしてくださり、20年前40年前と同じように 親切でおおらかなフロンティア精神がどこかにあった。

アメリカ人っていう言い方は日本人という言い方と意味あいがちょっと違うかもしれない。今はアメリカに住んでいる;だからアメリカ人?いや、ちょっと違うかも。

何世代か遡った先祖は〇〇から移住してきた、という家族の話はとても興味深い。今回も祖母は一人で小さなスーツケース一つだけ持ってソ連経由でアメリカ大陸にたどり着いた、と話したホストがいた。生の世界史だ(了)

5. 支部からのお知らせとお願い

・7月1日現在における関東支部の会員数は45名(内家族会員4, トラベラー会員1名)

入会者 : 2月MHさん(再入会)、3月AIさん、TEさん(トラベラー会員)の2人、4月MY

さん(家族会員) 4名

退会者 : 1月 KMさん、KRさんの2人、3月にITさん、6月にSTさん、4名

- ・ 2024年度(1月～12月)の年会費のお支払いは、12月に一般会員は3,000円、学生会員は2,000円を遅くと来年1月31日までに支部の口座に振込みをお願いします。